

大阪市・大阪公立大・大阪ガスの連携によりバイオプラスチック容器を 中浜下水処理場にてエネルギー化する実証実験を開始します

大阪城東部地区のコンセプト：「大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ」

実証イメージ

大阪公立大学
森之宮キャンパス



バイオプラスチック製容器の使用・回収

令和7年11月4日(月)～12月22日(月)



大阪公立大学 森之宮キャンパス 学生食堂
(バイオプラスチック製容器を使用の弁当販売場所)

バイオプラスチック製弁当容器
(大阪ガス㈱提供)

大阪ガス㈱

バイオプラスチック分解物
の運搬

大阪市
中浜下水処理場

[実証実験の目的]

- ・バイオプラスチック製品のエネルギー化フローの実証検証（回収・分解物の生成・バイオガス化）
- ・下水処理場の消化槽での導入効果の確認

バイオプラスチック 分解物の生成

バイオプラスチック分解物のバイオガス化 &バイオガス利用

下水汚泥
バイオプラスチック
分解物

大阪市・大阪ガス㈱
共同研究

発電した電気は
下水処理場内で利用



消化槽

ガス発電機

実施イメージ

実用化により

- ・今後普及が進むバイオプラスチックをカーボンニュートラルなエネルギーとして再利用（廃棄物の削減・温室効果ガスの排出抑制）
- ・下水処理場とまちづくりの連携による地域のエネルギー拠点の創出